

2024.6.1

こんにちは わ ーど

No.90

半田国際交流協会だより

令和6年度半田国際交流協会総会開催

5月11日(土) 瀧上工業雁宿ホール視聴覚室にて、令和6年度総会を無事終えることができました。議案はすべて承認されましたので、ご報告いたします。記念講演も合わせ、多くの会員の皆さまにご出席いただきましたことをお礼申し上げます。

多文化共生について考えよう!

半田国際交流協会
会長 中村 宗雄



令和6年5月1日時点で、半田市民116,727人のうち、外国にルーツがある方は53カ国、4,794人にも上ります。その割合は24人に1人にあたり、今では半田市の暮らしや産業、サービスを共に支えていただく大切な一員になっています。

私は「多文化共生」という5文字のもつ意味の深さと難しさについて、よく考えることがあります。多文化共生を実現するには、単に交流をするだけでは難しいかと思えます。私たち一人ひとりがお互いの違いを認め、受け容れ、尊重し、全ての人々が偏見や差別なく、平等に扱われる社会であるべきです。それぞれがそうしたことに目を向ける機会を作りだすことが、協会の役割だと考えています。

少子高齢化に歯止めがきかないこの国には、以前のような単一の民族だけで社会基盤を維持する力はもうありません。半田国際交流協会としましても、半田市と密接に協力関係を築きながら、半田のまちが日本の方にも外国にルーツがある方にも選ばれるよう、更なる多文化共生の実現に向けた機会作りに尽力していきたいと思えます。

最後になりますが、本年度も半田国際交流協会への一層のご理解とご協力を賜りますよう、お願いを申し上げます。

多文化共生の推進

半田市長
久世 孝宏



昨年は6年ぶりとなる「はんだ山車まつり」が開催され、約55万人の来場者で賑わいました。国内のみならず、国外からも多くのお客様にお越しいただき、半田市のまちの様子や伝統ある山車文化を知っていただけたことを大変うれしく存じます。

半田国際交流協会におかれましては、姉妹都市から招聘した5名の方々に対して、本市の魅力を知っていただくために様々なイベント・交流を企画していただきましたことをこの場を借りて感謝申し上げます。以前は当たり前となっていた人的交流がコロナ禍で途絶え、しかし、こうしてコロナ禍を乗り越えた先に、素晴らしい交流ができたことを感慨深く思います。

さて、本市では、令和2年度に多文化共生推進プランを策定し、今年5年目を迎えます。急激に変化する昨今の社会情勢に対応すべく、今年度はプランの内容を見直し、令和7年度には新しいプランの内容のもと、多文化共生を推進してまいります。

半田国際交流協会がこれまでの活動を通じて得られたたくさんの経験、そしてネットワークを存分に活用していただき、引き続き本市の国際交流及び多文化共生の推進にご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

令和6年度 役員紹介(敬称略)

名誉会長 久世 孝宏(半田市長)
顧問 松石 奉之
会長 中村 宗雄
副会長 榊原 肇
専務理事 高木 利定

理事

榊原 明美(半田ロータリークラブ)
松林 信吾(半田南ロータリークラブ)
田中 純一(半田ライオンズクラブ)
内田 雄介(公社)半田青年会議所
田中 亨児(半田商工会議所青年部)
松石 陽介(半田ジュニアプラスバンド)
間瀬 政和(半田市高等学校校長会)

田村 悦子(半田市小中学校校長会)
松井 良親(半田市スポーツ協会)
足立 岳人(ダウ・ケミカル日本(株))
榊原 正治(半田ブータン青少年交流協会)
山田 宰(半田市役所)
監事
山本 卓美(半田市副市長)
小柳 厚(半田商工会議所)

令和6年度 半田国際交流協会総会記念講演
ウガンダ出身の技術者から見た
日本企業での仕事



5月11日(土)、半田国際交流協会総会記念講演「ウガンダ出身の技術者から見た日本企業での仕事」を開催しました。半田市の企業、瀧上工業株式会社の技術者であるダニエル・アペンヨさんと、同じ技術企画グループのリーダーである松村寿男さんに、外国人の方が日本企業で働く際の、双方の思いや留意点など、講演していただきました。



ウガンダの大学を卒業し、地元の日本企業に就職しました。研修で行った日本が好きになり、また日本の高度なエンジニアリング技術を学びたいとJICAの奨学金で京都大学大学院に留学しました。卒業後、瀧上工業株式会社に就職。最初、日本語は

全くできませんでしたが、苦勞しながら、言葉や文化、ビジネスマナーを学び、お客さんとの対話もがんばっています。また会社のおかげで、横浜国立大学の博士課程に進学することになりました。

毎年JICAのプログラムで300人程の留学生が来日しますが、約90%は帰国してしまいます。文化の違いや日本語の問題、円安などで、就職は厳しいようです。日本企業にはインターンシップを活用し、外国人の雇用機会を増やしてほしいです。多様性と包摂性(ダイバーシティ&インクルージョン)を考える中で、外国人スタッフとの協働は、事業拡大の可能性を秘めています。



過去にアジア系の学生を受け入れていましたが、日本語が話せないのはダニエルさんが初めてで、英語でのコミュニケーションは難しく、違う方向性に進めていたり、締切の感覚が違っていたりすることに苦勞しました。しかし、他の部下との協力や報告体制の改善により、課題を克服しました。

英語が不得意な部下にも、英語交じりの日本語で指示してもらい、ダニエルさんがいろいろな人とコミュニケーションを取る機会を増やしました。ダニエルさんは、難しい力学理論も対応できるので、研究開発の業務、論文の英訳と、活躍の場を広げました。また、海外での開発製品のプレゼン、留学生インターンやメディア、要人の通訳もこなし、その引き寄せ効果もあります。

一定期間は、お互いにかまがりますが、外国人技術者の受け入れは、新たな視点や可能性をもたらし、日本人との切磋琢磨を促すいい機会となります。

法人・団体会員 (順不同)

【法人会員】(33社)

- 阿久比運輸(株)
- (有)イシケン
- 尾張製粉(株)
- (株)榊原
- (株)システムサポート
- (資)松華堂菓子舗
- (有)末永工務店
- (株)スミヨシ
- ダウ・ケミカル日本(株)
- 武豊屋(株)
- 知多信用金庫
- 中部電力パワーグリッド(株)半田支社
- ツカサ工業(株)

- 士平鑄工(株)
- (株)デザインセンターオワリヤ
- 東洋織布(株)
- 中埜総合印刷(株)
- 日道工業(株)
- 日本ガイシ(株)知多事業所
- 半田港運(株)
- 半田信用金庫
- (有)半田精糧
- ビジネスホテル アズイン半田インター
- NPOヒューマン・コミュニティ
- (株)Project K
- 文化堂写真館
- (株)マツイシ楽器店

- 松林工業(株)
- 丸佐織物(株)
- ミツカングループ
- (株)三菱UFJ銀行半田支店
- 山田自動車工業(株)
- 山田紡績(株)

【団体会員】(17団体)

- 半田商工会議所
- 半田ロータリークラブ
- 半田南ロータリークラブ
- 半田ライオンズクラブ
- (公社)半田青年会議所
- 半田市商店街連合会

- 半田市小中学校校長会
- 半田市PTA連絡協議会
- 半田市スポーツ協会
- (一社)半田市医師会
- 知多薬剤師会
- 愛知県立半田高等学校
- 愛知県立半田東高等学校
- 半田ジュニアプラスバンド
- 日本福祉大学付属高等学校
- 半田ブータン青少年交流協会
- 国際ソロプチミスト半田

【個人会員】

207名(2024年6月1日現在)

半田国際交流協会にご入会ください!



年会費	個人会員	2,000円
	団体会員	10,000円
	法人会員(1口 5,000円)	
	・従業員数 1名~29名	1口以上
	・従業員数 30名~49名	2口以上
	・従業員数 50名~	4口以上

申込先: 半田国際交流協会
(瀧上工業雁宿ホール内 1階)

TEL: 0569-26-1929 FAX: 0569-26-1992

E-mail: hia@poplar.ocn.ne.jp

HP: <http://www.handakokusai.aichijp>

今後の主な行事予定

- ◆広報紙作成 会報「こんにちはわーるど」年4回発行
- ◆「にちようびのほんごきょうしつ」
毎週日曜日 10:00~11:50
- ◆【半田市】ミッドランド高校生受け入れ
7月21日(日)~8月11日(日)
- ◆こんにちはわーるどフェスティバル
11月17日(日)

